

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ポコアポコ緑ヶ丘			
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 20日 ～ 令和 7年 2月 1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	10人
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 20日 ～ 令和 7年 2月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での連携が取れています。毎朝の朝礼の他、気づいたことや改善点をいつでも話せる体制が整っているので療育の改善や支援の改善、職員の向上にも繋がっています。	毎朝ミーティングを行い前日の振り返りや利用児の様子や気になったこと、業務の改善点などを話し合い直ぐに改善や対応をするようにしています。	こども会議で出た案を出来るだけ実現できるように内容を考慮し活動に取り入れて利用児が楽しめるようにしていきます。
2	利用児が楽しんで活動できるように週1回は必ず行事を行っています。。 季節にちなんだ行事の他、食育を兼ねてクッキングに力を入れており多種多様な調理をしています。お菓子類を作った時は家に持ち帰り、保護者の方々にも食べてもらい好評です。	利用児の状態や発達に合わせた活動内容になるように個別支援や集団支援になるように見直しをしています。成功体験を通して自己肯定感を高めていける活動を職員間で意見を出し合い活動しています。活動時は複数用意し選択制にしたり組み合わせで楽しめる内容にしています。	行事やお出かけを通して職員やお友達とのコミュニケーションをとる楽しさを学び集団活動のルールや相手の気持ちを考えて楽しく活動できるような支援を考えていきます。
3	利用児が動きやすい環境が整っています。カーペットの色で活動する場所を決め、登所時や帰宅時に利用児自ら準備がしやすい動線で物を配置します。	利用児が切り替えがしやすいように目視情報だけでなく、事前告知やチャイムを用い切り替えが苦手な利用児にも伝わりやすい対応をするよう心掛けています。	安心して活動に取り組みながら利用児自身の気持ちを自由に表現できるよう職員の対応や声掛けについて更に向上できるように意識して支援に取り組んでいます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や児童館、仲良し会等の子供たちとの交流が出来ていないです。	活動として取り入れていないです。 職員間で話がでたが、現状では難しいのではないかと意見が多いです。	親子行事や家族参加型の活動を取り入れる段階から始めていきます。
2	児童発達支援の利用児がいません。	放課後等デイサービスが主になっている。	相談員や事業所内の管理者と声を掛け合い利用に繋がるよう情報共有していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ポコアポコ緑ヶ丘

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 令和7年2月1日

11人

回収数 10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	3	1	1	手狭で十分に動き回れていないように感じる。	活動人数を分けて安全に過ごせるようにしている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	3	1	1	こども対大人の基本の配置人数が分からない。 退職者がいて足りていないように感じる。	契約時に職員の配置や人数の説明をしている。排泄介助に入る時は職員同士で声を掛け合いスムーズに活動出来るようにしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	4	0	2		利用児が動きやすい動線で物を配置し、カーベットの色で活動を分けている。 室内はバリアフリーだが玄関に手すりやスロープ設置の検討が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	2	0	2		朝夕の掃除機掛けとドアノブや壁の消毒を行っている。 カーベットの色を分けて活動の場所を分けている。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	2		個々の特性を職員間で共有し発達段階に合わせて支援するよう努めている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1	0	2	週末の行事が毎週違うので良いと思う。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	1	0	2		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	4		ガイドラインに沿って作成している。保護者の皆様には分かりやすい説明をするよう努力していく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	2	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	2	0	1		担当職員を日々変えながら活動している。
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	2	4	交流は他のポコくらいだと思う。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1	2	0		契約時に資料を見せながら説明している。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	2	1		契約時に資料を見せながら説明している。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	2	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	4	0	0	日頃の様子を連絡帳に書いてくれるので分かりやすく安心。	今後も連絡帳や口頭で伝え共有していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	4	2	3	面談は必要性を感じないので絶対にやりたいとは思わない。 面談は無いが、電話での対応はある。	面談する機会をつくり、直接話す場を設けていけるよう検討中。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	4	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	4	5	保護者・兄弟も特に必要性を感じないので、無くても不満に思うことはない。 他事業所との交流はある。	父兄参加型の行事を検討中。 感染症予防のため時期をみて保護者会を開く予定。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	4	0	1	スムーズに対応してくれて、ありがたく思っている。	相談があった場合は適宜対応している。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	3	1	0	連絡帳が役立っている。 連絡帳に書くだけでなく送迎時に直接話して欲しい。	日々の様子や予定変更は連絡帳や口頭・電話で対応している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	4	1	1	何をしているのか分かるので安心。 ホームページは見たことがない。	ホームページ作成中。評価に関してもホームページが出来上がり次第公表する予定。 月1回の会報にて日々の活動の様子や行事の様子を公開している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	2		鍵付きキャビネットに保管している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2	0	3		保護者の皆様には周知しきれてない部分がある為、分かりやすい資料を作成し早急に説明していく。 毎月避難訓練を実施し様々な場面を想定した訓練を行っている。（不審者・台風・大雨・地震・火災・雪害など）
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	1	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	1	0	1	「行きたくない」にならないか不安だったが毎週楽しそうに帰ってくる姿を見て安心している。	1人1人の利用児の応じた対応を心掛けている。利用児・ご家族が安心して楽しみに通って頂けるよう今後も努力していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0		今後も信頼関係が築けるよう職員の対応・言葉使いなどの向上できるよう事業所全体で努力していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	3	0	0	今後の課題はいろいろあると思うが利用を続けていきたい。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ポコアポコ緑ヶ丘		R 7 年 2 月 28 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	パーティションを活用し人数を調整しながら安全に活動している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	4	排泄補助や送迎時に職員が手薄に感じる時がある。	職員の配置や担当を調整し、職員の負担が偏らないよう改善していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		カーベットを色分けし活動の場を分け、利用児が動きやすい動線で物を配置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	感染症予防も含め毎朝夕の掃除と手の触れる部分の消毒は徹底して行っている。活動で使った物や玩具は活動終了後に都度消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	ワンフロアで個室が無い為パーティションを利用し落ち着ける空間をつくっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	毎朝朝礼を行い前日の反省や連絡事項の確認、当日の予定を職員全体で確認している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	月1回発行しているポコ通信で評価を公表し、保護者の意見について話し合い改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎朝のミーティングや職員会議で意見を出し話合って改善に繋げている。 気付いた時にいつでも意見や案を話せる体制は整っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	回数が少ないが内部・外部の研修は行っている。	研修の機会を増やせるように検討し職員の質の向上に努めていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	作成はしているがホームページ作成中のため、今後公表予定。 会報で公表はしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		適宜アセスメントシートを用いている。 アセスメントや保護者・相談員から聞き取りし計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	職員間で利用児の支援検討会議を行っている。見直し等も含め適宜話し合っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	アセスメントを参考にガイドラインに沿った計画を作成している。 職員の共有もできるよう努めていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	担当職員が行っていたがミーティング時や会議で意見を出し合い チームで作っていきよう変更。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		担当を固定化せず交代で支援している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	毎朝ミーティングを行っている。担当を決めているが困難な時もある為、臨機応変に対応している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	モニタリングは半年に1回は必ず行い計画の見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	課題や活動を複数用意し自分で選択できるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	必要に応じ担当者会議を開き、情報共有し利用児の支援に繋げている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	適宜連絡を取り合い情報の共有を行っている。送迎時に担当の先生から利用児の様子を聞くようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	相談員を通して情報共有している。必要時は対応できる体制は整っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	対象児童がいないが体制を整え対応できるようにしていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	必要に応じ情報共有し対応できるようにしていく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	今後行えるように連絡を取り体制を整えてく。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5	弘前市でひらかれるこども専門部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳やお迎えの際に口頭で伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	研修は行っていないので検討が必要。保護者からの相談があった場合は送迎時・お迎え時・連絡帳・電話での対応はしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に資料を渡して説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	相談があった場合は時間を作り対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	保護者会や交流会は行えていないが、今後保護者参加型の行事や交流会を計画している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情や申し入れがあった場合は全職員に周知し迅速かつ丁寧に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ホームページは作成中。月1回ボコ通信を発行し行事や利用児の活動の様子を載せている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付きキャビネットで保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		特性に応じて様々なツールを使い対応している。絵カードや平仮名表、表情や行動から読み取る等。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	今年は行えなかったが地域にチラシを配り納涼祭の計画はしていた。今後は実行できるように努めていく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	マニュアルは作成しているが職員や保護者への周知が不十分なところがある為、掲示し説明を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		あらゆる場面を想定し避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		相談員の資料をもとに見学時や契約時に服薬や持病について聞き取りを行っている。全職員への情報共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		対象児童はいないが必要に応じ対応していく。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	安全計画は作成し事業所内での情報共有に留まっている部分がある為今年度中に研修や訓練を行う。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		家庭との連携が取れるよう、より分かりやすく説明し周知していくよう努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事案があった場合は都度報告書に記載し会議やミーティング時に職員で情報共有し話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		外部講師を招き研修を行っている。事業所内でも研修を行い常に意識が持てるようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束適正化委員会を設置し会議を行っている。 基本的に身体拘束は行わない。	